１．企業情報

会社名	株式会社アライドマテリアル
CID 番号	CID000004
会社所在地	富山製作所：富山県富山市岩瀬古志町 2 本社：東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号
処理した 3TG	タングステン
当該報告書の対象期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

２．RMAP 評価サマリー

RMAP 評価の最終評価日	2021 年 9 月 2 日～2021 年 9 月 3 日
評価対象期間	2018 年 5 月 1 日～2021 年 4 月 30 日
評価企業	Arche Advisors
最新の評価サマリーに対するリンク	ASSESSMENT SUMMARY REPORT

３．サプライチェーンに関する企業方針

当社は、直接的か間接的かを問わず、高リスク地域および紛争地域における武装グループを利するか、その資金源になる、および/または他の重大な人権侵害をもたらす可能性のある紛争鉱物の使用を回避する目的で、サプライチェーン方針を定めた。本サプライチェーン方針は、*OECD* 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス（*OECD* ガイダンス）の第 *3* 版に全面的に準拠したものである。本方針は、*OECD* ガイダンスの付属書 *II* において特定されたすべてのリスクを対象とし、全世界を対象地域とするものである。当社は、付属書 *II* に列挙されたリスクが特定された場合、全力を挙げてその対処に取り組む。本方針は、本方針の実施に対する支援を確約している上級管理職によるレビューと承認を得ている。本方針は、該当ステークホルダー（サプライヤー、顧客、従業員等）に対して広く提供されている他、当社 Web サイトからも閲覧可能である。

４．企業管理システム

・管理構造

当社は、自社サプライチェーン方針を遵守する姿勢を徹底すると共に、デュー・ディリジェンスについて以下の項目を含む社内手順を策定している。

・ デュー・ディリジェンスプログラムとリスク管理の設計と実践に対する監督は、当社社長が責任を負う。

・ 当社は、デュー・ディリジェンスプログラムに必要なすべての該当部門に所属する主要な従業員に対して、デュー・ディリジェンス管理システムについてのトレーニングを年 *1* 回の頻度で実施している。デュー・ディリジェンスプログラムが更新される場合、当社は必要に応じて追加のトレーニングを実施する。

・社内管理システム

当社は紛争鉱物管理方針を定めており、取引先に周知し要件を満たさない場合は直ちに取引を停止することを表明している。当社は少なくとも年に 1 度はサプライヤーを訪問しデュー・ディリジェンス要件の順守を求めている。また、当社は苦情に関する情報を収集するために、会社の Web サイトにリンクされた苦情処理メカニズムを備えています。

・記録保持システム

当社では、デュー・ディリジェンスプログラムに関連するすべての記録につき、少なくとも *5* 年間保管すると共に、かかる記録を適切に利用、追跡することが出来る。

５．リスクの特定

当社では一次原料は調達しておらず、中間原料、二次原料のみの調達となる。また、中間原料は RMI 認証を受けた精錬所のみからしか調達を行っていない。当社ではリスクの特定を行う為のプロセスを整備している。第一に当社は当社サプライチェーン方針のリスクを参照して、*CAHRA* を特定するための手順を定めている。この手順には、使用されるリソース、「紛争地域および高リスク地域」の定義条件、および当社の決定に対するレビュー頻度が含まれる。当社は、*CAHRA* を決定するにあたり、以下のリソースを参照する：

・米国ドッド・フランク法: 武力紛争と広範な暴力（コンゴ民主共和国）またはトランジットリスク（周辺 9 か国）の存在
・欧州連合 CAHRA リスト: CAHRA の指標となる、非網羅的で定期的に更新されるリスト
・ハイデルベルク紛争バロメーター ： 武力紛争と広範な暴力の存在
・脆弱国家指数:人権と法の支配の指標 ： 人々と法の支配に対するその他の危害のリスク
・世界ガバナンス指標 :贈収賄、鉱物の原産地に関する詐欺的な不当表示、マネーロンダリング、政府への税金、手数料、ロイヤルティの不払い
・コントロールリスクのセキュリティリスクマップ :公的または民間の治安部隊への直接的または間接的な支援。

第二に、当社は収集された全情報について社内の調達要件との照合によるレビューを行っている。本報告期間においてレビューの結果、リスクは特定されなかった。

以　上